

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 古河市立中央小学校

担当教諭名 南城 ひろみ

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

実施日時	平成 23年 10月 4日 (火) 10:35 ~ 11:25
対象学年と人数	6年生 88名
派遣講師名と出身国	Mr.MBOOH BASSIA Aser (カメルーン) Mr.ABDOURAHMAN Omar Banjir (ジブチ) Mr.TASSEW Addis Alemayehu(エチオピア) Mr.SULEMANA Danaa AlHassan ガーナ) Mr.NWINTUO Fidelis (ガーナ) Mr.BARKON Aleo P. (リベリア) Mr.SHEKU Amidu (シエラレオネ) Ms.KHIRY Elshoul Elfadil (スーダン) Mr.BILARO Atugonza Luta (タンザニア) Mr.KITUUKA George Mugomba (ウガンダ) Mr.MUTALE Chrisantus(ザンビア) Ms.RALISOA Norosehene(マダガスカル) Mr.Awdalla Mohammed Awdalla Mohammed (スーダン)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・母国語の挨拶・自己紹介 ・各ブースにて、各国の紹介 (自然環境, 子どもの生活や学校の様子, 国旗について, 食べ物, 衣服, 文化, 世界遺産など) ・ジャイカで研修生として研修している内容についての紹介(コーディネーターの方から) ・アフリカ地域の歌の紹介 ・児童からのリコーダー奏の演奏
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	児童が実際に様々な外国の方々と交流することができ大変有意義な時間を過ごすことができました。講師の方々も積極的にふれあってくださって大変盛り上がりました。
生徒・保護者等参加者の感想 (児童の感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・国によって食物や洋服, 言語, 生活の仕方などがちがうことがわかりました。 ・研修員の方がみんな優しく, 明るく接してくれてうれしかったです。 ・国の特徴や国旗についてなど色々なことがわかりました。 ・肌の色が違ったりしていても, とても優しく自分の国や自分と比べて色々なことを考えました。 ・それぞれの国の伝統がわかりました。 ・研修員の方が日本で学んだことを帰国してから自分の国で生かすと聞いてすごいなと思いました。
先生の感想	・お忙しい中ありがとうございました。時間が短かったことが一番残念でした。言葉はあまり通じませんでしたが, 双方で理解しようとしているところがとてもよかったです。研修員の方々が積極的に接していただいたので, とても助かりました。1名でも通訳できる方がいてくださってよかったです。今回は13名の研修員の方に1名の通訳の方でしたので, できればあと少しいてくださるともっとよかったです。